



林業体験

森林を管理する方法を学びます。
木が多すぎるために暗くなってしまった森林は、木を切って森林の中に光を届ける作業が必要です。その流れを学ぶとともに、切った木を小分けにして運び出し、まき割り体験を行います。

森散策・森の健康診断

実際に森林を散策しながら、木や土壌の状態を調べ、森林の役割を学びます。
どんな木が生えているのか、また、その大きさや本数を調査し、森林の健康状態を診断します。



クロモジウォーター作り

クロモジウォーター（香水）を作る体験です。
クロモジは、比和地域に多く自生しており、枝葉に芳香成分が含まれ、上品な香りがするのが特徴です。
草花の特徴が、生活に生かされていることを学びます。

木工・クラフト体験

木で工作を行います。
工作を通じて、森林から切り出された木が、さまざまな方法で人の生活に役立てられていることを学びます。
主に、コースターや箸置きなど、木材を有効に利用する方法を学びます。



この他にも、さまざまな体験メニューを用意しています。施設の利用や、体験への参加を希望する場合は、林業振興課林業振興係へお問い合わせください。

こんなことが体験できます



伐採した木を観察



伐採の様子を見学



薪割りを体験

森林体験プログラムモニターツアーを実施！

9月10・11日、森林体験交流施設を中心に「森林体験プログラムモニターツアー」を実施しました。
このツアーは、広島市在住のファミリー層を対象に、本市の森林資源を活用したプログラムを体験してもらうものです。体験後には、参加者にアンケートを行い、魅力的に感じた点や改善点、参加者のニーズなどを把握・分析することで、森林体験交流施設の利用促進と森林体験や学習を通じた誘客につなげることを目的としています。
当日は、9組29人が参加し、さまざまな体験を行いました。
1日目は、比和財産区有林での伐採見学や、アサヒの森での森林の保全について学習。その後、森林体験交流施設でバーベキューを楽しみました。2日目は木工クラフトやそばがき（そば粉にお湯を混ぜて作った団子）作り、クロモジウォーター作りなどを体験しました。
参加者は「山に入って良い刺激になった」「森林の大切さが分かった」「そばがきがおいしかった」と話し、普段はできない森林での体験を楽しみながら、森林への理解を深めた様子でした。
今後は、日帰りのモニターツアーも予定しており、引き続き森林体験交流施設の利用促進に取り組みます。

森林に親しみ、将来の担い手を育成 森林体験プログラム

林業振興課林業振興係 ☎0824-73-1124
いちばんづくり課いちばんづくり係 ☎0824-73-1278

森林体験プログラムは、「庄原市森林体験交流施設（森林の学舎・比和）」で、令和3年度から実施しています。これまで、12回のプログラムを実施し、延べ192人が参加しました。
参加した児童は「ノコギリを使ったり、森の中で活動したりしたことがなかったのがわくわくした」と話すなど、体験が刺激になっているようです。
現在は、市内の小中学生を対象としています。ですが、これまで寄せられた感想や意見を基に、今後は地域の人や市外の人を対象としたメニューも実施していくよう計画しています。
【地域団体との連携】
森林体験プログラムでは、地域団体と連携し、体験の講師を務めていただいているほか、体験を行うフィールドとして、比和財産区の所有する森林や「アサヒの森」を活用しています。
比和財産区は、比和地域を区域とする特別地方公共団体で、財産として約860ヘクタールの山林を所有しています。また、アサヒの森は、アサヒグループジャパン株式会社が所有する森林です。同社は、国内のビール工場で使用する水と同量の水を、社有林での水涵養量でまかなう「ウォーターニュートラル」に取り組んでいます。
これらの森林を散策し、地形や土壌、枝の伸び方などを観察したり、植物に触れたりすることで、参加者の心に残る実地的な体験プログラムづくりに取り組んでいます。